

清川まちづくり通信

第6号(28.10.31発行)

清川まちづくり協議会先進地研修

10月25日、「清川まちづくり協議会」のメンバーでグリーンツーリズムの先進地「安心院町松本地区」に行ってきました



講師の荷宮さんの講話に熱心に聞き入るメンバー

宇佐市安心院町の松本地区は人口150人の集落で、地域の地形から通称「イモリ谷」といわれています。「何も無いけど、何でもある」と農村の利点をいかし、「田舎だからできる事」「足を引っぱらず、手を引っぱろう」を合言葉に安心院の“グリーンツーリズム”はスタートしたそうです。

20代のぶどう栽培の後継者、I（アイ）ターン（東京からの移住者）30代は納豆工房、40代のドジョウの養殖業等、安心院に魅せられた若者が定住しています。

※グリーンツーリズムとは・・・農山漁村を訪問して、その自然と文化、人々との交流をありのままに楽しむこと。都会で生活する人々が、自然体験や農業体験、加工体験等の農村の暮らしを学んだり、農村伝来の食文化を味わうこと。

～裏面へつづく～

まちづくり協議会に新メンバー！！

平成28年9月6日より新たに、「宇田枝の山崎政吉さん」「三玉の萩原とも子さん」「雨堤の小野正文さん」が“清川まちづくり協議会”の委員に委嘱されました。「清川の地域づくりのため」「清川を元気にしたい」というお気持ちで、一般公募で新たに参画されることになりました。よろしくお願いします。

～御嶽山桜ロードの復活を願って～

10月26日、御嶽山頂付近と林道の新植予定地の検討会を実施しました。



「清川まちづくり協議会」は、平成28年度中に御嶽林道の桜の古木の手入れと桜の苗木の新植を計画しています。

皆様の御理解・御協力をお願いします。

当通信のお問い合わせは清川支所（☎35-2111：市内無料電話 9-35-2111）まで